私たちのまち さがみはら まちだ。
今まで知らなかった大学や地域の情報が盛りだくさん。
この「さがまち」は両市の学生が参加して企画・取材・編集しました。

さがまち

大学と地域の連携によるまちづくり情報紙

2006年（平成18年）9月 発行
発 行：相模原・町田大学地域連携方策研究会
事務局：相模原市パートナーシップ推進課
042-769-9225
町田市企画調整課
042-724-2103
http://www.jouhou.org
E-mail:info@jouhou.org
携帯からもアクセスOK!!

相模原・町田大学地域連携方策研究会は、相模原市・町田市を中心としたエリアの大学やNPO、経済団体、行政により平成15年度に設立された組織です。本研究会では、相模原・町田エリアにおけるこれからの大学と地域の連携のあり方について検討を進めています。また、大学等の生涯学習活動や地域との連携・交流活動などを効果的に情報発信するために専用ホームページの定期的な更新や情報紙の発行などを行っています。

LINE UP

Let's Walk☆商店街☆ …… p2
相模原と町田の商店街の魅力を再発見
相模大野銀座商店街／町田仲見世商店街

相模原の技術屋社長 …… p3
知られざる相模原・町田のすご腕技術屋を紹介
技術屋人生30年「万能型自動串刺機」開発のエピソード

みんな集まれ！祭りだ！ワッショイ！ …… p3
わっしょいわっしょい！誰もが気になる地域のイベント情報
祭りの顔ともいえる神輿の担ぎ手に突撃インタビュー！

Talk！Talk！Talk！ ～留学生の今～ …… p4～p5
日本でも年々増えてきている留学生たち。宗教や食生活、文化の違いなどで驚くことも多々あるようです。彼らの素顔に迫ってみました！

ぶらり学食の旅 …… p4
学食メニューってなんだか気になりませんか?
そこで「学食たべ隊」からの実食レポート
今回は相模女子大学と和光大学へ行ってきました

アートの楽しめるスーパー …… p5
買い物帰りにアートはいかが?
スーパーアルプス多摩境店で気軽にアートを楽しんでみませんか

さがまち情報スクランブル …… p6～p7
相模原・町田の大学からの耳寄り情報を一挙掲載

相模原・町田大学地域連携方策研究会 プロジェクト報告 …… p8
フォトシティさがみはら子ども写真教室プロモーション映像作成
エフエムさがみインターンズ・ラジオ、「さがまち」編集ユニットなど

Let's Walk☆商店街☆

～魅力を再発見～

日ごろ、皆さんは地元の商店街を利用していますか。相模原・町田には多くの商店街があって、魅力的なお店がたくさん。今回は相模原と町田の商店街を2カ所取材してきました。

・相模大野銀座商店街・

相模大野駅を出てすぐのところに相模大野銀座商店街があります。1959年（昭和34年）に団地が近くに出来たことがきっかけで、商店街の歴史が始まりました。最近では、空き店舗を利用して相模女子大学が手作り雑貨のお店を出したり、街ぐるみのお祭りを行うなど、独自の取り組みを行っています。人とのかかわりを大切にした住みよいまちづくりをめざしている元気な商店街です。（文・Photo：青山学院大学 栗原佑佳・和光大学 小森谷憲彦）

相模大野銀座商店街のホームページ http://www.ohnoginza.com/

マルゲリータ ～ハンドメイドの温かさ～

2004年（平成16年）4月にオープンした「マルゲリータ」は、相模女子大学の学生による手作り雑貨のお店です。生活造形学科の学生たちの作った作品を、学生自身が値段を決めて販売しています。ポーチやアクセサリーなど、店内にはカラフルでかわいい商品があふれています。学生の作品を学外で発表できないかと考えていた大学側と、空き店舗の活用を模索していた商店街側の双方の思いが一致したこの試みは、全国的にも画期的なことだそうです。相模女子大学の学生のお店が商店街に新しい風を運んできたようです。

【営業時間】11:00～18:00
【定休日】水曜日と日曜日

ほがらか ～焼き鳥片手にほろ酔い気分～

街の人々に愛されて35年、相模原の大衆酒場「ほがらか」。いつも多くの常連客でにぎわっています。このお店のお薦めは、何といっても焼き鳥です。ネギ・ハツ・レバーその他なんでも1本当たり60円均一の価格。破格の安さがうれしいかぎりです。

店に入るとサッカーのポスターやサイン色紙が目に付きます。なんでも須山店長はプロサッカーチーム「アルビレックス新潟」の熱烈なファンだそうで、アルビレックス新潟後援会の人には、飲食代が20%オフの大サービス。みなさん、「ほがらか」に行ってアルビレックス新潟を応援しましょう。

▲アルビレックス新潟ファンの須山店長

八起 ～昭和の雰囲気漂うお店～

「八起」は新鮮でとてもおいしい焼肉のお店ですが、実はもうひとつ、別の顔があります。1986年（昭和61年）頃から、若手の落語家を月に1回呼んで寄席を行っているのです。開催回数は、現在までになんと430回を越えています。おかみさんの唐沢さんと落語との出会いは小学生のとき。若手の落語家の披露の場が少ないことから、自分のお店でやろうと決め、その2週間後には最初の公演を始めたそうです。そんな行動力のあるおかみさんはとても元気！　きびきびとした動きとはつらつとしたキャラクターで、お店の人気者です。「お客さんとのやり取りで、逆に幸せをもらっています」というおかみさんの言葉が印象に残りました。

▲居酒屋で寄席を開催している唐沢さん

▲おかみさんと語る商店街振興組合事務局長

・町田仲見世商店街・

町田駅の周りにはたくさんの商店街があります。今回はその中でも50年の歴史を誇る仲見世商店街を取材してきました。仲見世商店街の特徴は、何といってもアーケード型の商店街であること。雨の日でも傘をささずに買い物が出来ちゃいます。そして、昔ながらの雰囲気のお店がたくさんある一方で、若者向けのお店も意外と多い。

人通りの絶えない活気のある商店街「町田仲見世商店街」の中から何軒かのお店をご紹介します。

仲見世商店街のホームページ　http://anaba21.hp.infoseek.co.jp/

民芸にしむら ～掘り出し物あり～

店内には所狭しと絵や骨董、エスニック衣料などの商品が並んでいて、まるで宝探しをしているような感覚になります。もともと、「にしむら」はお肉屋さんだったそうですが、30年ほど前に趣味と民芸のお店として再オープンしました。年齢や性別を問わずさまざまなお客さんが来るそうですが、時には10年・20年来のお客さんが来てくれることもあるそうです。

昭和にタイムスリップしたような温かい空気がこのお店には流れています。皆さん「民芸にしむら」で宝探しをしてみてはいかがですか。

市川豆腐店 ～職人手作りの味～

1950年（昭和25年）創業の「市川豆腐店」では、添加物を一切入れない昔から変わらない製法で手作りの豆腐を作っています。遠いところでは、大宮や静岡から来てくれるお客さんもいるという人気の豆腐店です。お店に買いに来られるお客さんと、何気ない世間話をすることが、とても楽しいとおかみさんは話してくれました。コンビニやスーパーでは体験出来ない日常生活の中でのコミュニケーションができるのは個人商店だからこそ。買物だけでは終わらない地元商店街ならではの楽しみがここにはあります。

▲店を切り盛りする石井さん

懐かしい手作り豆腐のおいしさを是非味わってみてください。

マルヤ製菓 ～大判焼き45種類以上～

大判焼きを求めてお客さんの行列が絶えないのが「マルヤ製菓」。和菓子やお弁当なども売っていますが、一番人気はやはり大判焼き。小倉あんなどのスタンダードなものから、チョコバナナ、カスタード、パンプキンなどの珍しいものまで45種類以上のメニューが常に用意してあります。具がたっぷり入っていて、外側はカリカリ、中はふんわりとしていてとてもおいしいです。お客さんの半分くらいは学生などの若者。「お客さんがおいしかったと言ってくれる時や、何度も買いに来ていただける時が一番うれしいです」とご主人は話してくれました。

▲熟練の手さばきであんを入れる

相模原の技術屋社長

串刺し一筋30年
技術屋の心意気

食品に串を刺すための機械を造る。そのことだけに己の力を注いできた頑固な技術屋がいます。肉や野菜、その他何にでも串を刺す機械。それ以外は造らない。ただし、それと決めたからには徹底的に良いものを。彼が造り出した「万能型自動串刺機」は、今や串刺業界で95%のシェアを誇る。私たちが口にする焼き鳥やおでんといった串料理、その多くは彼の造った機械によるものです。その製作者は、小嶋實（こじま　みのる）さん72歳。相模原市光ヶ丘にあるコジマ技研工業の社長です。"串刺機開発"の歴史、そこに映し出された小嶋社長の技術屋魂を取材しました。（文：和光大学 後藤有作　Photo：和光大学 小森谷憲彦 ）

焼き鳥屋の"おやじ"の一言が

串刺機開発は、小嶋社長が通っていた焼き鳥屋のおやじの何気ない一言から始まりました。「焼き鳥は串刺しの仕込みが大変。多く仕込む時間がない。自動で串を刺す機械、造れない？」当時から一端の技術屋だった小嶋さん、その一言は彼の心を動かしました。断われなかったのです。ひょんなところから生まれた小嶋社長の串刺機。その性能の良さは、次第に評判を呼んでいきました。彼はやがて、その機械の可能性に気付きました。「もっと高性能な串刺機を開発すれば、きっと売れる」。そう確信した小嶋社長は1985年（昭和60年）、コジマ技研工業を興しました。しかし、その後は楽ではありませんでした。

実は串刺機には先行メーカーがあったのですが、そのメーカーが造った機械はどれも性能が今ひとつ。だから多くの食品メーカーは、串刺機というものをあてにしていませんでした。「串刺機なんて使い物にならない」そういった印象が食品業界に広がっていました。コジマ技研はまず、このイメージを払拭するところから始めなければならなかったのです。

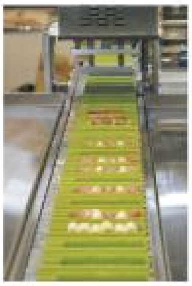
コジマ技研の地道な努力が続きました。"成功は一日にして成らず"。ゆっくりと、そして確実にその性能を高め信頼性を広めていきました。しかし会社がやっと軌道に乗り始めた90年代の初め、また新たな問題が発生しました。

秘作の串刺機の図面が市場に流出

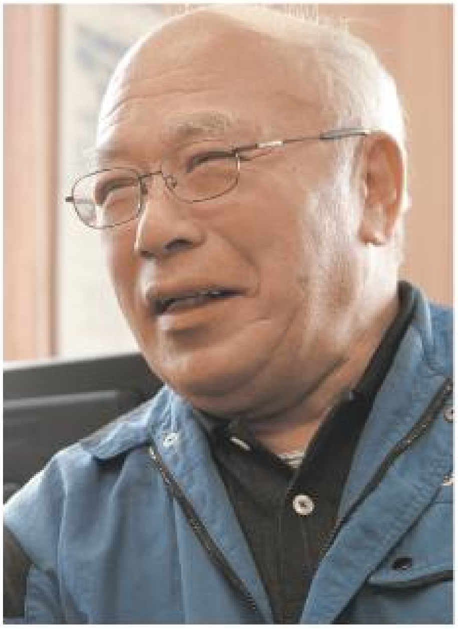
図面が流出したのです。羨望の的であるコジマ技研製串刺機の図面、それを手に入れた他の企業は、こぞって串刺機開発に着手、ついに開発競争が始まりました。それはさながら、串刺機の戦国時代。「流出した図面よりも新しいものを造らなければ、終わりだ」そう考えた小嶋社長。ライバル企業との開発競争の中、コジマ技研は改良に改良を重ねました。そしてついに「万能型自動串刺機」が完成。何にでも串を刺せる機械が誕生したのです。コジマ技研は勝利しました。串刺機市場95%を独占したのです。

生涯現役の情熱家

コジマ技研を興した時から、社長は串刺機の開発だけにいそしんできました。ライバル企業が他の機械製品も造る中、彼は頑固一徹、串刺機の改良にこだわりました。利用者の言葉には、どんなに小さなことであれ耳を傾けたのです。焼き鳥屋にも足しげく通いました。職人の串刺し作業を観察するためです。来る日も来る日も、串刺機だけに貫き通したその情熱。それが「万能型自動串刺機」を生んだのです。



小嶋社長は今、72歳。定年はとうに越えています。しかし彼は、今日も部屋で新たな串刺機の図面を引いています。生涯現役、彼の技術屋精神は終わることを知りません。小嶋社長は自身の技術者人生を振り返りこう語ります。「道に入ったら入りきる。突き詰めていくこと、これが大事」。



コジマ技研工業有限会社
代表取締役 小嶋 實さん

みんな集まれ！ 祭りだ！ワッショイ！

「あじさいちゃん」と「サルビア君」は、相模原市の市花「あじさい」と町田市の市花「サルビア」の花をイメージして作成したキャラクターです。
このキャラクターのデザインは、今回の「さがまち」編集に参加した相模女子大学の町田有理衣さんが行ってくれました。

みこし☆まつり通 インタビュー

祭りの醍醐味と言えば神輿（みこし）！　今回は相模原市の上溝祭りや町田市の天満宮大祭など、多くの祭りやイベントで神輿を担ぎ、地域を盛り上げている団体「上溝睦関東神輿同好会」（以下上溝睦-かみみぞむつみ）の会長の加藤直樹さんと相談役の大川周芳さんに、上溝睦で所有する神輿購入までのいきさつや発足の背景、祭りにかける熱い思いを語って頂きました。（文：相模女子大学 町田有理衣・佐々木みどり）

Q,神輿を担ぎ続ける理由は何でしょうか？

とにかくその時が楽しいんです。その一日にかけてみんな燃えていますしね。（笑）

それに、大声が出せるので、良いストレス発散になります。（大川さん）

左から加藤さん、大川さん

Q,上溝睦発足の背景や、神輿購入のいきさつを教えてください。

自治会で所有している神輿は他の団体に持っていくことが出来ません。しかし、『神輿を担ぎたい』『祭りを盛り上げたい』という祭りが好きな子どもや若者は大勢いるのではないかと思い、神輿を持った一つの組織として活動してみようと思ったのが始まりです。購入しようと決めてから1年もしないうちに購入しました。上溝睦は2001年（平成13年）に発足し、ボランティア感覚で神輿を持っていない自治会の祭りに神輿を持っていき、担ぐ事で地域を盛り上げようと思って活動しています。（大川さん）

Q,会員の条件はありますか？

とにかく祭りが好きな人であれば誰でも会員になれます。（大川さん）

Q,読者の皆さんにメッセージをお願いします。

○加藤さん…神輿をよく知ってもらい、孫の代まで続けていって欲しいと思います。
○大川さん…若者よ!!　古き良き日本の祭りをみんなで楽しみ盛り上げていきましょう！

上溝睦会では会員を募集しています。連絡先は042-760-8889（加藤直樹まで）

神輿体験レポート

相模原の桜まつり〈2006年（平成18年）4月1日～2日開催〉に参加した上溝睦の神輿。こだわりがたくさんあって、例えばてっぺんの鳳凰の目はルビー!!
金箔が眩しい。龍の造りも実に細かく豪華です。団体の人たちの祭り・神輿にかける熱い想いが詰まっています。重さは300kgぐらいだそうです。さがまち学生編集員3人が実際に神輿担ぎに初挑戦してきました。

▲ 上溝睦の神輿です

▲ 慣れない動き…（汗）

▲ 桜満開～本当に素晴らしい景色！

▲ 担いでないぞ～（笑）

▲ 拍子木をたたいているのは加藤さんです

～学生編集員の感想～

佐々木みどり（相模女子大学）
天候が優れなかったのにもかかわらず大勢の観客が見守る中、大きな掛け声と周りの熱気に吸い込まれるように神輿を担ぎました。最初は初めての雰囲気に戸惑いましたが、掛け声に合わせてずっしりした重みを感じながら、とにかく楽しんで担ぐことができました。

町田有理衣（相模女子大学）
肩にずっしりとくる重み、揺れ、周囲の掛け声、にぎわう雰囲気を体感でき、感激しました。祭り好き、神輿好きの熱い想いを持った人たちの一体感に参加させていただいたことを改めて感じました。本当に楽しかったです。満開の桜も満喫しました!!

松山敏子（青山学院大学）
近くで見る神輿は想像以上に丁寧な造りで、触れた時にはその重みと重みに感動しました。そして神輿をきれいに彩っていた桜、にぎわう人々の声、太鼓の音が聞こえてくると懐かしいようなワクワクするような、自然と気分が明るくなり、同時に日本の伝統行事の良さも改めて強く感じることが出来ました。

▲ 左から、佐々木・松山・町田

Talk! Talk! Talk!
～留学生の今～

ここ最近日本も国際化が急速に進行し、海外が身近に感じられるようになりました。しかし外国人と話す機会はまだまだ少ないのが現状。“今、彼らはどんな気持ちなんだろう？”今回はそんな素朴な疑問から、日本をよく知る2人の留学生に直撃インタビュー！

（文・Photo：青山学院大学 松山紘子・栗原佑佳）

李美松
リ ビショウ（以下ビショウ）
国士舘大学21世紀アジア学部21世紀アジア学科2年在籍
留学年数：2年
出身国：中華人民共和国

Agung Wisnugroho
アグーン ウィスヌグロホ（以下アグーン）
職業能力開発総合大学校研究課程機械専攻1年在籍
留学年数：5年3ヶ月（日本語研修6ヶ月、長期課程4年、研究課程9ヶ月）
出身国：インドネシア共和国

日本・東京へのあこがれ
―通っている大学について教えてください

ビショウ：アジア地域の文化や経済について学んでいます。毎日13カ国ものアジアの学生と話し合え、異文化の価値観なども知ることができて良い勉強になっています。留学先を考えたとき、韓国も考えたんですが（自分は）韓国語が話せるので、まったく何も知らない日本のほうが学ぶことが多いと思い日本を選びました。実際、東京にあこがれもありましたしね。

アグーン：僕は工学の溶接科で勉強しています。日本の大学で4年間勉強した後、一度3年間ほど母国に戻り、また修士課程で学びに来ました。もともと留学してみたいとは思っていたのですが、ちょうど父から紹介されて日本の大学を選びました。

「宗教の違いで食事には困りました」
―日本に来て最初に困ったことはなんですか

ビショウ：やっぱり言語です。分からないときは母国の人に相談にのってもらいましたね。

アグーン：僕も同じです。あと食べ物にも困りました。イスラム教なので豚肉が駄目なんです。豚のスープが入っているものも駄目なのでラーメンは食べたことがありません。

私たちが取材しました。左から松山・栗原

―最近はまっていることはありますか

ビショウ：柔道です。黒帯を取りました！（歓声が上がる）あとカラオケ。B'zとかゆずとかを歌います（笑）。運動が好きなので大学でもサッカーサークルに入っています。中国では部活はあまり盛んではないんです。学歴社会なので勉強の方が重視されているんです。

アグーン：ビリヤードを高校の時からよくやっていました。インドネシアでは結構普通に皆がやっています。カラオケにはあまり行きませんね。大学では登山部でした。富士山や南アルプスなどいろいろ登りました。

日本の学生と変わらない生活
―どんな私生活を送っていますか

ビショウ：今は大学の近くで一人暮らしです。料理が得意なので、日本の友達にも振る舞います。主に作るのは中華料理、韓国料理ですね。だけど唐辛子を半分ぐらいにして辛さを抑えているのに「辛い！」って言われます（笑）。アルバイトもしていて、居酒屋で週5日のペースで働いています。帰宅は夜の12時ぐらいになりますね。

アグーン：寮暮らしで一人部屋です。だけど食事は適当です（笑）。僕の場合は奨学金をもらっているのでアルバイトはしていません。ですから夜の6時か7時ぐらいには帰宅しています。

ぶらり学食の旅

『学食たべ隊』参上！！　今回はこちらの2つの大学から人気・お薦めのメニュー、学食の風景をご紹介します。行った気分、食べた気分を味わっちゃってくださいね～♪♪

（文・Photo：相模女子大学 佐々木みどり・町田有理衣）

相模女子大学

〒228-8533 相模原市文京2-1-1
TEL.042-742-1411
http://www.sagami-wu.ac.jp

施設名…100周年記念マーガレットホール
また、併設してある『ティーラウンジ』（軽食が楽しめる）もあります。学食の店長さん…岩崎洋子さん

- 季節により各種イベントを開催（ご当地ラーメンフェア、クリスマスフェアなど）
- アラカルトは7種類で2日おきにチェンジ。
- 隣のティーラウンジには自分で巻けるソフトクリームあり。（夏は16種類と種類も豊富）
- 学園行事をアピールする場としても活用されています。（短期大学部造形学科の学生が卒業研究で撮ったイタリア、フランスの写真を展示）
- 敷地内に付属幼児園があるので「わくわくランチ」という企画があり、園児たちが学年別にマーガレットホールでランチ（お弁当）を食べています。（月に1回）
- 学生にうれしいサービスも充実（フライドポテトをカップに詰め放題で100円や揚げたパンの耳カップ山盛り80円など）
- 焼きたてパンが大人気！！　80円からあり売り切れメニューの定番だそうです。取材日も既に売り切れでした…。

▲取材した、左から佐々木・町田

マヨネーズベースで、マヨラーにはたまらない?一品です。
半熟のゆで卵とブロッコリーの空揚げがうまーいバランスでマヨにからまっています。食欲そそられませんか？（笑）がっつり、しっかり食べたい時にお薦めですよ。

アラカルトB（400円）

Aランチ（350円）

オムレツはかなり甘めで半熟。サクッとしたエビフライが絶品！！
学生人気NO.1メニューです。
いつも売り切れだとか…。
定食なのでライス、スープも付いてきますよ。量も多すぎず少なすぎずで◎さすが人気NO.1☆☆

安人気メニュー！！
この値段でも味はしっかりしていて麺もツルツルです。
山菜、ナメコ、きつね、たぬき、（4種）の中からトッピングが選べるほか、ワカメ、なるとが付いてきますよ～！！
サッパリの味

うどん（250円）

和光大学

〒195-8585 町田市金井町2160
TEL.044-988-1433
http://www.wako.ac.jp

施設名…CAFETERIA　カラフルな椅子が並び、明るい雰囲気です。ハンバーガーショップも別にあります。学食の店長さん…林義朗さん

- 学食とは思えない豊富な品揃え！！　全150食（2006年2・3月のメニュー）
- ライスのサイズがSS（60円）、S（90円）、M（130円）、L（180円）と豊富。
- ライスは麦飯もあります。値段はライスと同じです。
- 季節により各種イベントを開催（4月新入生お祝いフェア、5～6月ご当地ラーメンフェア、アジアンフェアなど）
- 地元の農家が栽培している（大学近隣の岡山地区で栽培している）無添加の岡山野菜を週に2回仕入れています。数量限定。人気メニューです！！→
- 1品小鉢（サイドメニュー）50円から…。
  サイドメニューの充実が本当にスゴイ！　1品50円と安いから、あれも～これも～と欲張ってしまいそう。取材班に人気だった品は鶏レバー！　やわらかく、とっても食べやすい。おひたしも定番メニューです。新鮮さがあって、しゃきしゃきです。

初めて出会ったメニュー！
やわらか～いカツと半熟卵がしょうゆベースのうどんの上にのっています。
合うの?と疑いつつも、これがまた合うんです。いい感じ◎
お薦めメニューです☆

親子うどん（380円）

パワー丼
S（330円）、M（380円）

学生人気NO.1スタミナ丼。
男性支持率高し。
店長さんもお薦め!?だそうです。
上にのった半熟卵が下の豚肉や野菜に絡まって醸し出す絶妙のハーモニーが大人気です。
その名の通り“力”が付きそう。

とてもおいしく量も満足。
トロトロチーズが食欲をそそります。まさに学生が好きそうなお品。
なんとポテトフライも付いていますよ！
取材班の中で一番のお気に入りメニューでした。

チーズクリームメンチ（240円）

まじめできちょうめんな日本人、けれど心は不安定?

—日本人の良いところ・悪いところはありますか

ビショウ: 根性があるところが良いですね。そういう人が大勢いるから、伝統的な店がいっぱいあるんだろうなって思います。けれど、日本の女性は専業主婦が多いようなので、もっと社会に出て欲しい。中国では共働きが普通なので少し違和感を覚えます。

アグーン: インドネシアでも共働きが普通です。多分、日本は生活が豊かだから専業主婦が多いのかも。日本人の良いところは、まじめで時間にも正確なところですね。ちなみに、インドネシアは結構時間については適当です(笑)。10分から15分くらい遅れてくるのは日常茶飯事です。

—他に最近の日本を見ていて気になる事はありますか

ビショウ: 残念なことに、日本には自分の命を粗末にする若い人が多いように思います。多分、相談できる人がいないからかもしれません。これを少なくさせるにはもっと中学や高校の先生が尊重される必要があるのではないでしょうか。先生が生徒に慕われることは大切だと思います。中国では、先生はみんな尊敬されているんですよ。

アグーン: それはありますね。あと、日本の保護者にも問題があるのかもしれません。いじめが多いのも気になりますね。日本はとても豊かで良い国ですが、それらが改善されれば、もっと快適に暮らせると思います。

将来は中国に無いビジネスで社長になりたい

—卒業後の予定、将来の夢はなんですか

アグーン: 普通に生活が出来ればいいです(笑)。調練学校の溶接に関する指導員になりたいですね。子どもも好きですから。

ビショウ: 僕は日本で何年か経験をつんで、中国でヨドバシカメラやビックカメラのようなフランチャイズチェーン店を開きたいと思っています。中国には、日本のようにどこにでもあるフランチャイズチェーン店がありません。カメラなどの機械類も、日本から輸入しているので値段が高いのも難点です。その点、日本はすごいと思います。

—最後に一言

ビショウ: これから日本に来る留学生の方は、是非日本語をしっかり勉強してから来てください。私自身、授業などが理解できなかったりして不安が多かったので。それと、私たち留学生の事を知ってもらえるこういう取材は、とても良いと思いました。

アグーン: 僕も日本人と外国人の交流会があることを今回の取材で初めて知りました。留学生の方、分からないことがあったら周りの人にすぐ相談して日本で楽しい生活を送ってください。

日本のことを客観的に考えて意見をくださったお二人の留学生のおかげで、日本の良さや改善した方が良いところなどが少し見えてきたように思います。特に地域の方と留学生が、このように話し合う機会をさらに持つことができれば、小さなところからお互いの国を学べ、よりいろいろな世界を知ることができるのではないでしょうか。

ありがとうございました!

Center Information

相模原市・町田市の外国人支援施設のご紹介

【町田国際交流センター】
http://www.machida-kokusai.jp

《主な催し物》 日本語教室(託児あり)、子供教室、外国人のための生活相談、国際交流パーティーや外国人による日本語発表会など。

開館時間: 平日午前8時30分～午後5時45分
土曜午前8時30分～午後5時00分

2006年度会員募集中

入会方法: 所定の郵便振込でお申し込みください。
(入会案内は町田国際交流センターにあります)

町田国際交流センターの会員になって、国際交流の第一歩を踏み出してみませんか?

〒194-0013
町田市原町田4-9-8
町田市民フォーラム4F
TEL:042-722-4260

【さがみはら国際交流ラウンジ】
http://www1.odn.ne.jp/sil

《主な催し物》 通訳・翻訳、災害時外国人支援、国際交流フェスティバル、外国人市民会議、学校などでの国際理解活動など。

《ボランティア会員》常時募集受付

開館時間: 午前9時30分～午後8時50分
(但し日曜日は午後6時00分まで)

休館日: 毎週木曜日・年末年始(12/28～1/3)＊臨時休館もあり。

〒229-0033
相模原市麻溝台1-9-15
プロミティふちのべビル2階
TEL:042-750-4150

アートの楽しめるスーパー

安らぎのカフェ・ギャラリー "たまびば"

「美術館や博物館って、どうも息苦しくてなじめない」そう思っている人は案外多いのではないでしょうか。確かに美術館の雰囲気というものは好き嫌いが分かれるところ。でも、気楽に楽しめるアートスポットだってもちろんあります。そこで今回は"固くなんてなれっこない絶対安らげるアートスポット"を紹介しましょう。その名も「たまびば」。スーパーマーケットの中にある一風変わったギャラリーです! (文:和光大学 後藤有作・小森谷憲彦 写真提供:多摩美術大学)

京王線多摩境駅から歩いて10分の所にある「スーパーアルプス」。この店内に、カフェを兼ねたギャラリー「たまびば」があります。ここは、スーパーアルプスと、隣の橋本駅から徒歩25分の所にある多摩美術大学とがコラボレートして造った、コーヒー片手にアートを楽しむことが出来るカフェ・ギャラリー。内装からインテリアまで、すべて多摩美術大学の学生によるオリジナルデザインです。産学協同のこのギャラリー、どのようにして出来たのでしょうか。その過程を取材しました。

"たまびば"のロゴも学生のデザイン

大学の活動をスーパーでPR

スーパーアルプスが、以前の多摩境店を移転して現在の地に新規開店することになった時、特色のある店づくりをしたいと思ったのが最初のきっかけだったそうです。最初にスーパーアルプス側から隣駅にある多摩美術大学に、産学協同でギャラリーを造らないかと打診しました。それに対して大学側は「市民が頻繁に出入りする所に、作品を置いていただける良い機会。ここを通じて市民の方々に大学の活動をPRしていきたい」と快く承諾。これにより「たまびば」プロジェクトが始まりました。

開放感のあるギャラリー内

大人から子どもまでが楽しめる空間

「買い物を済ませたお客さんに、気楽に入ってもらいたい」そう考えてデザインされたこの空間。その居心地の良さに訪れるお客さんもひかれているようです。白を基調とした空間に、木製の家具や棚、まるで家の中でくつろいでいるように感じられます。ギャラリーの奥は大きなガラス張りになっていて、そこには自然の光がいっぱいに降り注いでいます。美術館やギャラリーによくある、あの薄暗い閉塞感はここにはまったくありません。買い物客が気軽に訪れやすい理由は、多分この辺にあるのでしょう。ギャラリー内にあるカフェでお茶を楽しみながら作品を眺める大人たち、ギャラリーを駆けずり回りながら物珍しそうに作品を眺める子どもたち。ここではアートに触れる新しい環境を目にすることが出来ます。来客者の反応も大変良好でした。

開場してまだ1年ほどの"赤ちゃんギャラリー"にもかかわらずこれまでに、2度ほどお客さんから作品購入の申し出があったのとのことです。

「たまびば」は、近いうちに本格的なギャラリー活動を始める予定なので、もしかしたら今後、アートを求めてスーパーに足を運ぶお客も出てくるかもしれません。そうなったら面白い!

スーパーが芸術活動を支援

このギャラリー「たまびば」は、大学側の努力もさることながら、お客さんを大切に思うスーパーアルプスの視点があってこそ実現出来たもの。企業が地域の芸術活動を支援するメセナという制度はありますが、これほどに地域の住民に密着した支援活動をしている例は多くありません。アートも楽しめるスーパーマーケット「スーパーアルプス」多摩境店、ここに訪れた際には、是非このギャラリー「たまびば」でやすらぎの一時をどうぞ。

さがまち情報スクランブル

秋季公開講座
服飾講座『素材加工と小物制作』
ーオリジナルな素材でバッグをー

【講座内容】
<第1回>11月18日　オパール加工（起毛したベロア素材に特殊加工を施し透かし模様をデザインします）
<第2回>11月25日 染色（素敵な模様が浮き上がった布地を好みの色に染め上げます）
<第3回>12月2日 制作（工夫を凝らした装飾で独創性あふれる作品を仕立てます）

開催場所：本学町田校舎
開催時期：2006年11月18日・25日・12月2日（土曜日）全3回
参 加 費：1,500円（講座初回に持参ください）
申込方法：事前にメールか往復はがきでお申し込みください
申込期間：2006年10月31日締切（必着）
お問い合わせ：東京家政学院大学総務課
〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地
TEL.042-782-9810 E-mail：koza@kasei-gakuin.ac.jp

オペリンピック（桜美林大学スポーツ・健康フェア）
“エンジョイ・ウォーキングの参加者募集”

【講座内容】
桜美林大学では、10月17日（火）「オペリンピック」と名づけ、スポーツの日を設けました。その一つに、桜美林周辺のまち歩き「エンジョイ・ウォーキング」を企画しています。地域の方もご一緒に、歩きませんか。主なコースは、大泉寺、下小山田苗圃、尾根緑道、桜美林教会です。当日昼食をすませ、正午に桜美林大学LL館の中庭にお集まりください。参加を希望される方は、下記の期間にお申し込みください。先着30名の方とさせていただきます。「エンジョイ・ウォーキング参加希望」とお書きの上、氏名、連絡先（電話、Eメール）を併せてご記入の上、<042-797-7335>にファックスにてお申し込みください。
開催場所：主なコースは、桜美林大学出発し、大泉寺、下小山田苗圃、尾根緑道、桜美林教会
開催時期：2006年10月17日（火曜日）ー参加費は無料ですー
申込方法：ファックス（FAX.042-797-7335）でお申し込みください
申込期間：2006年9月18日（月）～9月25日（月）
主 催 者：桜美林大学

多摩美術大学
八王子キャンパス芸術祭のご案内
11月3日（祝）～5日（日）

多摩美の芸術祭の目玉は、毎年300以上の団体による作品展示でしょう。中央ステージでは著名ゲストを招くイベントを開催し、模擬店もにぎわいます。そして、最終日のフィナーレの打ち上げ花火も人気です。
http://www.tau-geisai.com（随時更新中）

開催場所
多摩美術大学八王子キャンパス
開催時期
2006年11月3日（祝日）～5日（日曜日）
お問い合わせ
多摩美術大学八王子キャンパス
〒192-0394 東京都八王子市鑓水2-1723
TEL.042-676-8611

多摩美術大学 生涯学習センター
秋期講座

【講座内容】
多摩美術大学では、子どもから高齢者まで広く社会に門を開いて、芸術という「創造」の悦びを「あそびごころ」を持った柔軟な思索のなかから育み、共有していこうと、さまざまな公開講座を展開しています。ぜひこの秋多摩丘陵の豊かな緑のなかにある八王子キャンパスに足を運んで、学生たちと同じキャンパスで制作をしてみませんか。
・日本画を描く一岩絵具で自分の表現を探そう（講師：千々岩修）
・水彩絵具による風景スケッチ（講師：野村重存）
・銅版画石膏刷り講座一紙に刷る、石膏に刷る
（講師：前野智彦、渡辺達正）

お問い合わせ・資料請求
多摩美術大学生涯学習センター
〒158-8558　東京都世田谷区上野毛3-15-34
TEL.03-3702-9868 FAX.03-3702-9874
E-mail：life@tamabi.ac.jp　http://www.tamabi.ac.jp/life

第2回北里大学農医連携シンポジウム
代替医療と代替農業の連携を求めて

【講座内容】《プログラム》
1.代替医療と代替農業の連携を考える
2.代替医療ーその目標と標榜名の落差についてー
3.代替農業ーその由来とねらいー
4.代替医療と東洋医学ー科学的解明によるevidenceを求めて
5.環境保全型農業を巡って
6.環境保全型畜産物の生産から病棟まで
7. 総合討論
開催場所：北里大学白金キャンパス　薬学部コンベンションホール
開催時期：2006年10月13日（金曜日）ー参加費は無料ですー
申込方法：事前に、TEL・FAX・E-mail いずれかでお申し込みください
お問い合わせ：北里大学　学長室
〒228-8555 神奈川県相模原市北里1-15-1
TEL：042-778-9730　FAX：042-778-9761
E-mail：noui@kitasato-u.ac.jp

2006年度相模女子大学秋季公開講座
『武士の時代ー源平争乱と戦国ー』

【講義内容】
本講座は、武士の時代というテーマで、武士が時代転換期の担い手として大活躍した源平争乱期と戦国時代について人物に焦点を当てながら解説したいと考えています。
開催場所：相模女子大学　7号館711教室
開催時期：2006年10月7日～11月25日（10月21日、11月4日を除く毎週土曜日）
参 加 費：8,000円
申込方法：はがき、または、ファックスで住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記の上、お送りください。また、本学ホームページからも申し込みできます。
受付終了後、受講生証をお送りします。
申込期間：2006年9月30日（土）
お問い合わせ：相模女子大学　「公開講座」係
〒228-8533　相模原市文京2-1-1
TEL：042-742-1411（代）FAX：042-743-4717
URL：http://www.sagami-wu.ac.jp

国民年金基金

広告

国民年金に
プラスする
公的な年金

～掛金の負担の少ない
若い時からの加入が
断然有利です～

支払う掛金は将来も一定！
毎月支払う掛金は、自由に選べます。
また、収入に応じて金額を増減できます。

掛金は全額所得控除で税金が有利！
将来受け取る年金も、公的年金等
控除の対象となります。

支払った掛金は将来確実に年金に！
加入する時に、将来受け取る
年金額が確定します。

国民年金基金は自営業など、国民年金の保険料を納めている60歳未満の方がご加入できる公的な年金制度です。

神奈川県国民年金基金
〒231-0063 横浜市中区花咲町1-5 第一東商ビル4階
☎045-242-1907
http://www.kana-kokunenkikin.or.jp

さがまち情報スクランブル

起業家養成セミナー

【講座内容】
起業や経営に必要な能力を養成するセミナーです。各セミナーコースは講師陣に第一線で活躍中の起業家等を配し、直近の要素を受講でき、比較的受講しやすい時間帯で、1コース1週間で修了するようコース設定しました。また、数々の要素のコースのほかに段階的に受講した起業能力要素の総仕上げとして、総合コース「創業徹底指南塾」も計画しております。

開催場所：創業サポートセンター（東京都港区芝5-26-20 建築会館7F）
開催時期：随時（詳細は創業サポートセンターへお問い合わせ下さい）
参 加 費：8,500円～10,000円
申込方法：事前に指定の申込書でお申し込みください
お問い合わせ：創業サポートセンター
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館7F
TEL.03-5439-5551
E-mail：fujimoto@e-support.ehdo.go.jp
URL：http://e-support.ehdo.go.jp/

第14回職業能力開発研究発表講演会

職業能力開発に関する研究成果の発表講演会です。全国各地の職業能力開発施設における日頃の成果を口頭またはポスターで発表します。また、科学技術ジャーナリストの赤池学氏による特別講演を行います。

開催日：2006年11月9日（木）、10日（金）
会　場：職業能力開発総合大学校
（相模原市橋本台4-1-1）
テーマ：「創造的ものづくりを支える技能・技術」
特別講演：　赤池　学氏（写真）
講演テーマ：「創造的モノづくりの成功事例」
―熟練技能者たちの知恵と新しいモノづくり―
講演日時：2006年11月9日（木）13：30～
参 加 費：無料
申込方法：自由入退場
お問い合わせ：職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 普及促進室
〒229-1196 相模原市橋本台4-1-1 TEL.042-763-9155

キリスト教と人間
―人物で学ぶキリスト教史―

【講座内容】全5回各土曜日開催。オムニバス形式で各回90分の講演です。
【題目と講師】
「アウグスチヌス」東方敬信
「ルター」廣瀬久允
「K・バルト」伊藤悟
「内村鑑三」鳴田順好
「ヨハネ・パウロ二世」シュー土戸ポール

開催場所：青山学院大学相模原キャンパス　E103教室（予定）参加費は無料
開催時期：2006年10月14日から11月11日の各土曜日5回（14：30～16：00）
申込方法：事前に、往復はがきでお申し込みください（9月11日から9月25日必着）
お問い合わせ：青山学院大学 企画・渉外・庶務ユニット
〒229-8558　相模原市淵野辺5-10-1　TEL：042-759-6002
URL：http://www.aoyama.ac.jp/extension/index.html

The 4th sagamihara fest.
青山学院大学
第4回相模原祭

【テーマ】
対話 ～ love one another ～

期　間
2006年10月8日（日）～9日（月）
9:30～16:30

会　場
青山学院大学相模原キャンパス
（JR横浜線淵野辺駅より7分）

お問い合わせ
青山学院大学相模原祭実行委員会
〒229-8558　相模原市淵野辺5-10-1
TEL.042-759-6450(実行委員会活動室直通)
http://members2.jcom.home.ne.jp/sagafes06/

平成18年度秋期公開講座

【講座内容】
本学ならではの「武道」をはじめとして、「健康」、「スポーツ」、「法律」、「教養」、「語学」、「歴史」、「パソコン」、「趣味」などの多数講座を開催します。詳しくは、本学ホームページに掲載。

開催場所：世田谷、鶴川、多摩の各キャンパス
申込受付：2006年9月7日（木曜日）～
参 加 費：無料～15,000円
申込方法：事前に①か②の方法でお申し込みください。
①ホームページの「申し込みフォーム」からお申し込みください。
（トップページ左の公開講座から生涯学習センターのホームページに入れます）
②電話を頂ければ、各講座の紹介がされているパンフレット（申込ハガキなどが添付されています）をお送りします。添付されている申込ハガキを返送いただくか、FAXでお申し込みください。
お問い合わせ：国士舘大学 生涯学習センター
TEL：03-5451-1921　FAX：03-5451-1922
URL：http://www.kokushikan.ac.jp

水俣・和光大学展

水俣病公式確認から50年
大学主催の初めての水俣展

期　間
2006年9月15日～9月24日
10:00～18:00

会　場
和光大学「palaestra」
（小田急小田原線鶴川駅から徒歩15分）

入場料
前売券1,000円 高校生以下 500円
当日券1,200円 高校生以下 600円

お問い合わせ
学部事務室 TEL：044-989-7497

アイフォーコム
IFORCOM

あなたのクリエイティビティを活かしてみませんか？

アイフォーコムはITソリューションを基に、ソフト&ハードウエアを開発する会社です。

広告

アイフォーコムグループ

□アイフォーコム株式会社
・グループ本社
・相模原クリエイティブセンタ
相模原市西橋本5-4-30 SIC-2 5F
TEL：042-775-5120
□アイフォーコム東京株式会社
・新　宿　TEL：03-5909-2820
・横　浜　TEL：045-412-3010
・さいたま　TEL：048-813-7714
□アイフォーコム北海道株式会社
・札　幌　TEL：011-200-3300
□アイフォーコム東北株式会社
・仙　台　TEL：022-716-2165
・盛　岡　TEL：019-606-2901
・弘　前　TEL：0172-29-1506
□アイフォーコム関西株式会社
・大　阪　TEL：06-6345-5750
□アフォーコム九州株式会社
・福　岡　TEL：092-461-7020

事業内容
○ 商品開発　○ ソフトウェア開発　○ ハードウェア開発　○ネットワーク開発

アイフォーコム　クイズ

「iFORCOM」という社名は、3つの英単語を合わせた造語です。
さて、その3つの英単語とは、何でしょうか？

・ヒントは、ホームページをご覧下さい。
・正解者の中から、毎月5名様へ抽選でオリジナルグッツをプレゼントします。
・答えがお分かりの方は、、、
氏名、住所、職業を明記の上、info@iforcom.jp　宛にメールでご応募下さい。

E-mail : info@iforcom.jp
http://www.iforcom.jp

アイフォーコム株式会社・グループ本社
〒220-0207 神奈川県相模原市津久井町中野1326 加川ビル
TEL:042-784-5700(代) FAX:042-784-5540

大学と地域の連携によるまちづくり

相模原・町田大学地域連携方策研究会

相模原・町田大学地域連携方策研究会は、相模原市と町田市を中心としたエリアの大学・NPO法人・経済団体・行政により設置され、大学と地域に関する情報の発信やモデルプロジェクトの実施・検証を通じて、大学と地域の連携による個性と魅力あるまちづくりを進めています。

【参加機関】

青山学院大学、麻布大学、和泉短期大学、桜美林大学、北里大学、国士舘大学、相模女子大学・相模女子大学短期大学部、職業能力開発総合大学校、女子美術大学、玉川大学、多摩美術大学、東京家政学院大学、東京工業大学、東京女学館大学、東京田中短期大学、法政大学、和光大学、和泉福祉専門学校、NPO法人相模原エスティアート、NPO法人さがみはら市民会議、NPO法人CCCNET、まちだNPO法人連合会、㈱さがみはら産業創造センター、相模原商工会議所、相模原市、町田市

事務局：相模原市パートナーシップ推進課　電話042-769-9225　町田市企画調整課　電話042-724-2103

【2005年度（平成17年度）に実施した主なプロジェクトを紹介します】

■フォトシティさがみはら 子ども写真教室プロモーション映像作成事業（受託事業）

【概要】

○期　日：平成17年5月～9月

○内　容：フォトシティさがみはら子ども写真教室の様子を学生の視点で取材・編集し、プロモーション映像を作成しました。作成した映像は、ミウィ橋本のインナーガーデンや市役所内で上映されました。

【事業成果】

●学生への活躍の場の提供・地域との接点の創出・専門的スキルの習得

【参加・協働組織】

フォトシティさがみはら実行委員会、相模女子大学短期大学部メディア情報学科（教員・学生）、女子美術大学メディアアート学科（教員・学生）、相模原エスティアート

■FMさがみインターンシップ事業

【概要】

「インターンズ・ラジオ」
毎週火曜日午後10時30分～11時

○期日：平成18年1月～3月

○内容：地域メディアへの理解とコミュニケーション能力の向上を図るため、コミュニティFM局（エフエムさがみ）における学生インターンシップを実施しました。インターンシップを経験した学生は、研究会が提供する番組「インターンズラジオ」の企画・制作にボランティアとして参加しました。

【事業成果】

●学生への活躍の場の提供・大学（学生）、地域情報の発信。

【参加・協働組織】

㈱エフエムさがみ、学生（玉川大学、桜美林大学）

■学生ボランティアによる情報紙編集事業

【概要】

○期　日：平成17年11月～平成18年6月

○内　容：公募した学生ボランティアと、大学職員・NPO法人・行政の協働により、研究会情報紙（タブロイド版）を作成・発行しました。延べ30回の情報紙編集ユニット会議を通じて、学生は情報紙づくりや取材のノウハウを学びました。（発行部数5万部、大学・公共施設等で配布）

【事業成果】

●学生への活躍の場の提供 ・地域との接点の創出 ・専門的スキルの習得

【参加・協働組織】

情報紙編集ユニット会議、学生（青山学院大学、相模女子大学、和光大学）、大学職員（9大学）、NPO法人、行政

【「さがまち」編集に参加した学生の感想】

思えば“さがまち”というネーミングを言い出しっぺしたっけな～／あじさいちゃん・サルビアくんのキャラクターも作っちゃいました（自信作☆）／“町田”がまちだにかかわれてうれしいなぁ～♪（町田有理衣）／最初は右も左も分からず不安いっぱいだった私でしたが、NPOの方々・市役所の職員の方々、大学職員の方々のやさしい指導のもと、楽しんで取材・編集が出来ました。私は立派な“さがまち通”です！（佐々木みどり）／この情報紙のお陰でさまざまな所で活躍している人たちに出会い、常にワクワクの連続でした。神輿の取材の後、3人で看板娘と化して相当のやきとりを売りさばいたのも楽しかったぁ♪もっと新聞作り、挑戦したいです！（松山紘子）／大学のある相模原市、そして町田市のことを取材を始めるまではほとんど知りませんでした。今回この情報紙づくりを通して、相模原・町田をいろいろ知ることが出来て良かったです。お菓子を食べながら会議したのが楽しかった！お世話になった方々、ありがとうございました♪（栗原佑佳）／「素人の 編集作業 意義だらけ」（小森谷憲彦）「編集時間総計50時間、お疲れさま、みなさん」（後藤有作）

■さがみはらフィルムコミッション支援事業（受託事業）

【概要】

○期　日：平成17年11月～平成18年3月

○内　容：メディアを学ぶ学生が相模原市内のロケ候補地を取材し、ロケーションデータベース構築の支援を行った。

【事業成果】

●学習フィールドの提供 ・地域の魅力発見 ・地域との接点の創出

【参加・協働組織】

さがみはらフィルムコミッション、相模女子大学短期大学部メディア情報学科（教員・学生）

編集後記

町田と相模原の人口を合計すると100万人を軽く超えているんですね。そして両市には大学・短大が18校もあるのです。今回は元気いっぱいの学生諸君が編集に参加してくれて、わたしたちも知らなかった町田・相模原の魅力をたくさん引き出してくれました。ありがとう。（多摩美術大学企画広報部 伊藤嘉夫）

NPOの方、自治体の方と学生が、和気あいあいと作業をしていたのが印象的でした。「編集」に初めて触れた学生にとっては、またとない体験だったと思います。ありがとうございました！　（和光大学企画広報課 本谷果苗）

情報紙の企画・取材・編集を初めて体験する学生の皆さんは、この「さがまち」の作業の進行と共に成長を続けてきました。その学びへの真摯な姿勢に私も得るものが多くありました。（特定非営利活動法人相模原St-ART 渡辺照夫）

地域の情報やイチオシの見どころを学生、大学、行政、市民活動団体が共同して紙面で紹介していこうという考えのもと、約半年かけて試行錯誤をしながら何とか“さがまち”を完成させることが出来ました。とにかく何ごとにも積極的で一生懸命な学生さんたちのパワーには感動しました。そんな学生さんが相模原市と町田市には数多くいます。こんな元気な“さがまち”に大いに期待します。（特定非営利活動法人相模原St-ART 伊藤晃）